

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 加藤 重雄
幹事 小林 英毅
広報・会報委員長 鈴木 聖三

No. 7 ロータリーに輝きを (LIGHT UP ROTARY)

2014~2015年度 RI会長 ゲイリー C.K. ホアン

今日の例会
第1514回 平成26年 8月26日 (火)
友愛の日

先週の例会
第1513回 平成26年 8月19日 (火) 晴
近藤 雄亮 ガバナー公式訪問

《会長幹事懇談会》

11:30~12:10 梅の間



近藤雄亮ガバナーと高須洋志地区幹事、会長 幹事
副会長 会長エレクト 副幹事で、懇談会が開催され
ました

《例会》

◆君が代

◆我らの生業

◆ビジター紹介

第2760地区 近藤 雄亮 ガバナー

第2760地区 高須 洋志 地区幹事

◆出席報告

会員 41 (38) 名 出席 30名

出席率 78. 95%

前々回 7/29 (修正出席率) 89. 47 %

小林幹事報告

- 1) 本日例会終了後 理事会を開催致します。
理事役員の皆様は3F「桜の間」へお集まり下さい

ロータリー財団 恒久基金 ベネファクター認証 表彰式



・宮尾 紘司君 ・加藤 重雄君 ・渡邊 源市君

加藤会長挨拶



1982年(昭和57年)たしか
第1回だったと思いますが、
世界社会福祉会議が福祉の
先進国、北欧 フィンランド
のタンペイ市で行われました。

タンペイ市はフィンランド
の首都ヘルシンキからバス
で2時間位北へ行った所で

「トナカイ」とか人形の「ムーミン」等
で有名な所です。同時通訳で
会議の内容の一部は分かりまし
た。中南米、アフリカ、アジア
の後進国の代表が民族衣装を
着て「ヨーロッパやアメリカ、
そしてアジアの日本のような
富める国々は、我々貧困国に
もって援助すべきだ」と言
っていたのを記憶しています。

会議には、日本全国から選
抜で25名、全て公費で行か
せて頂きました。厚生省社会
援護局の職員1名も一緒に
でした。私のことです、すぐ
親しくなり色々聞きました。
「これからの日本の福祉はど
うするんだ」との質問に対
して、「日本は北欧のように高
福祉高負担はしません」とは
っきり言っていたのを覚えて
います。

当時、日本は消費税も有り
ません。北欧の国々は消費
税に類する税は25%か26%
でした。

講話 近藤 雄亮 ガバナー



皆さんこんにちは。たいへん和やかな雰囲気のもとに始まりまして、ある意味ではプレッシャーかなという気がしております。

先ほど加藤会長からお話がありましたように、この例会の前に会長・幹事懇談会というのがありました。

私の感想ですと、4分の3ぐらいは非常に楽しい話だったかなと、終わりがけの4分の1ぐらいは本当に真剣にロータリーの話をしたかなという感じでありました。

しかし、私のお願い事もありましたし、会長からの疑問質問点もありまして、時間は短かったのですが大変有意義にやらせていただきました。

先ほど皆さんと一緒に「我等の生業」を歌いました。御存じの方も大勢おられると思いますが、実はこの「我等の生業」の作詞・作曲者は、かの有名な「故郷（ふるさと）」という、我々が小さいころ誰でも口ずさんだ曲と同じ作詞・作曲者なんですね。片山主水パストガバナーがガバナーをやられた時に私がガバナー補佐をやりまして、この話がよく出ました。その終わった後も「主水を囲む会」というのをやっておりますが、よくこの歌の話が出ます。それを思い出しました。口ずさんでみると、本当に日本人の心、あるいは大げさに言えばロータリーの心も兼ねておるかなという感じが私はしております。

そういう意味で、大昔からちょっと前の昔まで、日本人の心の中にはロータリーの基本的な考え方、心が流れておるといふうに、物の本を読んだりして思っております。

例えば、二宮金次郎、二宮尊徳の考え方、教えもみんなロータリーと一緒にだと最近思っております。ぜひ一度、二宮金次郎とか、あるいは宮沢賢治の「雨ニモマケズ風ニモマケズ」という詩を読んで頂けると、なるほどと思われると思います。

大口パスト会長もロータリー研究会で職業奉仕について講演されるぐらいのお力を持ってみえるので、こういう席で私が今さら「ロータリーとは」、と言っても、多分そんなことはわかっているよということだと思いますので、私がガバナーになる前にどういふことを勉強してきたかを少し触れさせて頂きたいと思っております。

実は、会長になる前に PETS というのを受けます。最近では、そのほかに RLI 方式による会長エレクト研修会というのを延べ3日間、朝の9時から夕方の5時ごろまで受けます。昔、学校で習ったように腰かけに座らされてやるので、私も、皆さんがどんな御苦勞をされるかなということ、昨年、一緒になって経験しました。非常にお尻が痛くなって、いろいろな不満も聞きますけれども、自分の勉強にもなるし、そこでロータリーの目的でもあります。“知り合いを多くつくる”ということもありますので、ぜひ、たった3日間なので我慢して勉強して下さいと、先ほども会長エレクトの方には言っておきました。

何をやったって、基本的にはどう考えるかによって結果が異なってくると思っております。

そういう気持ちで私も去年の9月と12月ですが、2回 PETS を受けてました。それから、今年の1月になりましてアメリカのサンディエゴまで行きましてほぼ5日間、朝9時ごろから夕方の10時ごろまで缶詰になって、ロータリーについてのいろいろなことを学んできました。

私が感心したのは、かたい話ばかりだと疲れちゃいますけど、上手にかたい話、やわらかい話、あるいは我々のときは、夜、徳島の阿波踊りを壇上で世界の17地区ぐらいの人が民族衣装を着て踊りました。

その時に、男はどうせ何を言っても言うことを聞かない鈍いので、舞台上上がる必要はないと。(阿波踊りを見たりしたりされた方は御存じだと思うのですが、鳴子というのをカスタネットみたいに叩くのですが)、舞台袖の見えないところに固まって鳴子さえ鳴らしていればいい。ということで、壇上へは女性が上がって、本当にああいう難しい踊りをやりました。それを9月に発表されて、12月に女房たちは少し練習をしました。向こうへ着いてからも練習時間をとってやっております。踊っている時間はたった3分間ですが、私から見て女性軍は非常に上手に踊ったな、と。男も目立ちたがり屋の人がいて、阿波踊りかドジョウすくいかわからないような感じで踊っております。

昼間は本当にロータリーづくめの話だったのですが、夜になるとそういうことをしたり、あるいは歓迎晩餐会みたいな、テーブルを囲んでお酒を飲んで食事をする。これは日本人だけで固まらないように、外人の方が必ずそのテーブルに入るように考えてくれておりました。

お酒類はワインしかなくて、しかも、1本目はいいのですが2本目から有料になるんですね。私は調子づいて自分でミニバーみたいのところへ行行って買ってきて、「おう、俺のおごりだ」っていう格好して飲んで外人の男の人としゃべっていたのですが、最後のほうで「実は私の女房がガバナーエレクトだ。私はついてきただけだ」となって、奥様とも少しはしゃべらないといけなかったなと思いました。

千種RCでは、昨年度女性が会長をやられて立派に務められたと思うのですが、まだまだ日本では珍しいというか少ない存在です。外国へ行きますと、今申しましたようにガバナーまで出て、御主人がついてくるという方が結構おりました。

そういうことで歓迎晩餐会とか何々晩餐会と、結構楽しめました。お酒が入っているので、別に英語をペラペラ話せなくても、ロパクで手をもごもごやっていたら大体通じるんですね。

ロータリーの話でこんな話をしているのかなとは思いますが一つだけおもしろい話は、ゴルフの話が出まして「おまえ、どれぐらいで回るんだ」と言うので、「100ぐらいかな。おまえは幾つぐらいで回るんだ」と話したら、「ディペンド オン ザ ウォーター（水による）」と言ったんです。「どういう意味だ」「池があったり川があったりすると、俺のスコアはそれで変わるんだ」「そういうことか。じゃあおまえ、ボールを幾つも失うんだな」「そうだ」とえらい自慢げに言うんです。ロータリーの勉強に行ったのですが、そういうおもしろい話もしてきました。

昼は本当に真面目に全体会議をして、終わると各部屋に行行って分科会をするわけです。

先程 RLI の勉強の話をししましたが、リーダーがいて、今日は3分間スピーチをやるから、10分か15分

ぐらいだと思うのですが、その間に、「自分が今までロータリアンとして経験してきたことで、これは人前で話したほうが良いということをもとめろ」という話になりました。実際3分間スピーチを参加者がやらされました。「これもガバナーになるための訓練だ」と、上手に言われたなという感じですが、とにかく真面目にやってきました。

RI 会長エレクトが最初の全体会議のときに基調講演をやって、最後に RI のテーマ発表をするのですが、そのときに壇上の後ろの壁いっぱいには花火を打ち上げる CG があり、音もパンパンパンという音をさせて、我々は目を白黒させて見たり聞いたりしておりました。その間にふと気がついたらゲイリー・ホアンさんは、今私が着ているテーマジャケットにぱっと着替えまして、「ライト アップ ロータリアン」が出てきた時には壇上の真ん中で「よろしく」と。すごく演技が上手いといえますか、みんなをぐっと引きつけることをやられます。

ただマイクの前に立って「私のテーマはこうです」ではなくて、とにかくすごい。我々がびっくりしているうちに着替えたりするから、頭にスポンと入ってしまいます。

そうして全体会が終わって、これから 15 分後に分科会を始めますということで、分科会の部屋に行きました。その部屋に封筒が置いてあり、そこにこれからのスケジュールとか、ネクタイ、バッジが入っています。リーダーから、これはどういう意味だとか、これが次年度のネクタイだということで説明を受けまして、次の日からネクタイ、エンブレムをつけて出るようにしたのですが、そういうことで強弱合わせ持つといえますか、上手にやるなど。こういうことは、自分のクラブにしても地区にしても、取り入れるべきところだなという気持ちになりました。

今日の例会でも、加藤会長のユーモアな話から始まって、この千種 RC もその辺を心得ておると、大変感心して聞いておりました。

真面目に話したところでは、ロータリアン・モーメントって彼らは英語で言っておりましたけれど、「心に残るロータリアン体験」というものを必ず話すのです。ものすごく上手に話す。しかも、ポイントをきちんきちんと分けてやります。我々がそれにずっとのめり込んでしまうといえますか、その話に聞きほれていくという感じの演出をするわけです。高須幹事から、「国際協議会へ行く前と帰ってきてからで、あんた変わった」と言われましたが、私は決して洗脳されたと自分では思っていないが、そういう素晴らしい話を毎日毎日聞かされると、自分もロータリアンで頑張らなきゃいかんなど。こういう人のように心に残るロータリアン体験をつくり、そして後世に話せるような人になりたいな、という気持ちにだんだんなっていくと、不思議と。

帰国して 1 週間ぐらいで地区の諮問委員会がありましたので、国際協議会ではこういう話がありましたと、それをまとめて地区の方針としてこういうふうにいきたい、行動指針はこうしたいですということをお話し申し上げ、「それでいけ」と決まっていたわけです。要するに、上手に話すことも必要ですけども、いかにロータリアン体験をしていくか。

私、この前の国際大会でも感じたのですが、ロータリアンはイコール感動だな。感動がなかったら、ロータリアンの理論、理屈ばかり覚えて何にもならないというのが、私が思ったことであります。

失敗しても、人がワハハと笑うことをやっても、自分が一生懸命やって、その結果達成感を感じず、あるいは感動した。これがロータリアンに入ってよかった、あるいはロータリアンの中でこれからは頑張っていくんだという気持ちを起こさせると思ったわけでありませう。

この前の国際大会の話も少ししたいのですが、実は、皆さま方も大半の人がそうだと思うんですが、国際大会というのは初日の開会式に出て、その後、最寄りの観光地へ行こうかということで、1泊するなり2泊するなりは別として行ってしまふんですね。ゴルフをやられる方はゴルフの会をつくって近くのゴルフコースでやるというのが多分定番だと思います。私もそうしてきました。

だけど、こういう地位をいただいて、あと1カ月弱でガバナーを務めなきゃいかんということで、せっかくの機会だし一遍最初から最後まで大会に出て、世界レベルの大会でどういうことが行われるのかを自分で見てみたいと思い、6月1日から4日まで全部行ってきました。

シドニーオリンピックの公園といえますか会場でロータリアンの世界大会をやったのですが、150キロ以内の公共交通機関は全て無料になっています。バスとかフェリー、電車とかあるわけですが、何に乗っても、何回乗っても、どこで乗ってもタダということで、町の中心地から30分~40分かかるところにあったのですが、そんなに苦にならなかった。切符を買うのではなくて、胸にぶら下げている名札みたいなのを改札で見せると「どうぞ」という感じで入れるので、全然面倒くさくなかった。特にセントラルと駅からは専用の電車を出して、ノンストップで会場まで行けるということもやっておられる。町ぐるみでロータリアンの世界大会を支えていたという感じでした。

世界大会なので、選挙もありました。何の選挙かといえますと、次年度はゲイリー・ホアンさんが RI 会長になるのが決まっています、その次はインドの少し下にあるセイロンの方がなられるのですが、その信任投票をやるのです。それから、私の後に加藤陽一君がノミニエレクトになるのですが、これも信任投票をやる。そこで初めてノミニエレクトになるわけです。

7月1日がロータリアンの年度の変り目だと思うのですが、その選挙で信任投票をやってガバナーエレクトとして認めましたよということになって、ガバナーエレクトという名称を使えるわけです。それから RI の理事もそこで選挙をします。

その選挙が非常に厳しくて、事前に選挙のための受け付けをやるのです。例えば 2760 地区ですと、各クラブの委任状なんかを出していただくわけで、それを持っていくとほとんど無条件でくれるのですが、ちょっとトラブルがありまして、受付へ行って「2760 地区のガバナーエレクトだ。何とかその選挙に行きたい」という話をしまして、2時間ぐらい待たされましたがバッジをくれました。そのバッジをつけていないと絶対に会場に入れない。私の同期のガバナーが一緒に行ったのですが、会場の入り口で「だめだ」と言われて、その人は入れなかった。ただ、配偶者はバッジをつけてなくても、私の配偶者だと言えば一緒に入れる。本当に厳格に選挙人を入れて、「今日は全部で何票ある、そのうちの何票がそうだと。だからこの選挙は有効だ」ということをやるのです。

ロン・パートンさんが RI 会長だったので彼が議長になって議事をやるわけです。これはいいですか悪いです

か。イエスの場合は「イエス」と言わないで、「アイー」と言うのです。ノーは「ノー」と言えと。今回だけだったかもしれませんが、何でイエスと言わないのかなと思ったのですが。これもユーモアだなと。RI 会長エレクトを選ぶときに、前のほうで「ノー」という言葉が出た。ロン・バートンさんがこうやって「えっ、何か言いましたか」ということを言って、「もう一回採決します」と言ったら、みんな「アイー」と言って、「そうですね、全員賛成ですね」と通した。あれはサクラか何かかなという気がしたのですが、タイミングがよすぎるなと思って。とにかく本当に真剣に選挙をやりました。

分科会はちょっと時間がなくて行けなかったのですが、そこでも、日本の地区大会ですと立派な経営者とかあるいは経済学者とか政治家とかを呼んで講演していただくわけですが、そういうのは一切なかった。開会式と閉会式の2回、世界的なエンターテイナーが来て歌ったり踊ったりして盛り上げますが、中は全部ロータリアンがロータリーの話をする。

私が非常に関心を持ったのは、新世代の話を新世代の方にさせた。集まったロータリアンが2万人か、もっといたかもしれませんが、みんなが総立ちになって拍手をするような内容もありました。そういう意味でこの2760地区の地区大会も、一朝にはそうなりません、将来は、やっぱりロータリーの大会なのでロータリーのこととか、あるいは本当の意味の選挙とか、そういうことをやっていったら変わっていくのではないかなという気が致しました。

半田RCさんが地区大会のホストをして頂けるので、私がこれだけお願ひしますと頼んだのが、「新世代が、本人たちがアピールする時間を1時間とってくれ」と。最近よく言われているのは平和フェロー。大学を出ると紛争地へ必ず行って、紛争を解決するための行動とかあるいは紛争を解決するための教育とか、そういうのをやっているのがあります。それから米山奨学生も新世代ですね。いいのはホストクラブとホストファミリーができるということで、世界の架け橋を彼らにやってもらう。当然青少年プログラムもそうであります。これらの代表を出してもらって、ロータリアンにもっとアピールするようにお願いします、と。あとは経済学者に講演してもらおうが、どういう進行をしようがいいですが、これだけはお願いしますということで、そうなる予定であります。

先ほど、総立ちになった話があったという話を致しましたが、インターアクトの話で、毎回かどうかは知りませんが、ビデオコンテストというのが今回のシドニー大会でありました。そこで優勝したインターアクトクラブの代表が出てきて、何をやったかという話をしました。

高校生が学校に畑をつくった。みんなで土を起こして畑をつくって、そこに野菜を植えて、水をやったり草を抜いたりして野菜を育てた。そして育てた野菜を売ったら、それを買った人から「おいしい野菜でうれしかった」という言葉を頂いたということをしていました。売ったということは収益金があるわけで、そのお金を奉仕に使ったという話です。

畑というのはほかっておいてできるものじゃなくて、土を起こして肥料を入れて、みんなで協力してつくった。

ものづくりの楽しさ、喜びを感じた。それから、つくった野菜を収穫して、それを買って頂いて、その買った人が本当においしかったよと。自分たちが苦勞してつくったものがそんなに喜ばれるんだと、みんなが感動した。喜ばれる顔を見る感動といますかね。それから、売って得たお金を寄付すると、当然「こんなお金を頂いてうれしいわ」ということになるわけで、奉仕の喜びを感じたということをしていました。それを若い子が手足を使って上手に話すのです。2万人以上いるところで、へっちゃら、堂々とやるのです。だからみんな総立ちになって手をたたくのです。

先程も言いましたようにロータリーは感動だと。この感動をいかにつくるか。自分でもつくる、あるいは自分に感動をくれる人たちを育てる。千種RCも、インターアクト、ローターアクトを提唱していると思いますが、この前のインターアクトの年次大会、我々の地区大会みたいなものですが、600人以上の人が集まりました。ほとんど高校生と学校の先生方が中心で、ロータリアンは本当に少なかった。その立派なことにお金を出して応援しているにもかかわらず、年1回の年次大会になぜもうちょっとロータリアンが集まってやれないのかなと正直思いました。応援しているなら、要するにお金を出せばいいんじゃないかと、自分たちも行って、高校生が一体何をやっているかという感動の一つや二つ貰ってくる、若さを貰ってくるのが非常に大切ではないかな。私は新世代に対して非常に関心を持っておりまして、これからも心底応援していきたいと思っています。

皆さま方も、例会に呼んだりあるいはそういう例会に行ったりされると思うのですが、ローターアクトにも、インターアクトにも年次大会があります。彼らが集まってやるところに、1人でも2人でも多く出席していただけるとありがたいと思います。

取りとめのない話になりましたけれども、私の本音として話させていただきました。どうもありがとうございました。

＜9月例会のご案内＞

9月2日(火) 12:30 3階 錦の間
講演 NPO法人「あったかハウス」
事務局長 山田 修暉様 理事 臼田 公子様

9月9日(火) 12:30 4階 栄の間
講演 名古屋市議員 おくむら文洋様

9月16日(火) 12:30 3階 錦の間
講演 米山奨学生
＜例会後 理事役員会 3階 梅の間＞

9月23日(火) 休会 定款規程

9月30日(火) 12:30 3階 錦の間
友愛の日

※ニコボックスは次回掲載させていただきます

次回例会：平成26年9月2日(火) 3F 錦の間

講演：『子どもたちの未来を育てよう』

NPO法人「あったかハウス」事務局長 山田修暉様 理事 臼田公子様